

広報誌

第78号

2021 10. 1

Topics

- ●新しい診療の紹介 [乳腺外科・泌尿器科]
- ●薬剤部からのお知らせ

- ■認定看護師の活躍「新生児集中ケア認定看護師」
- テレビ褥瘡(床ずれ)について



基本理念

信頼され、心が通う地域医療



桐生厚生総合病院

(編集 院外広報編集委員会)

〒376-0024 群馬県桐生市織姫町6番3号 TEL:0277-44-717(代) FAX:0277-44-7170 URL: https://www.kosei-hospital.kiryu.gunma.jp/



新しい診療の紹介



乳がん患者の抗がん剤による 脱毛対策について

乳腺外科診療部長 森下 亜希子

最近は、がん治療後の生活も重視しようという流れがあります。診断時や治療中は、治療後の生活のことまで考えられない方がほとんどですが、がん治療の進歩により克服される方もたくさんおられ、治療後の生活のことも考える必要があります。

抗がん剤の副作用に関してもさまざまな対応が行われるようになりました。 今まで乳がん術後の抗がん剤は、脱毛は避けられない副作用でしたが、抗がん 剤投与時に頭皮冷却装置を使用することで脱毛抑制または治療後の発毛状態の 改善が期待できます。当院でも頭皮冷却装置(PAXMAN®)を 2021 年 7 月から 導入しております。他院での手術後の患者さまでも対応いたします。ご興味の ある患者さまはぜひ当院までご相談ください。

> 頭皮冷却装置▶ (PAXMAN®)





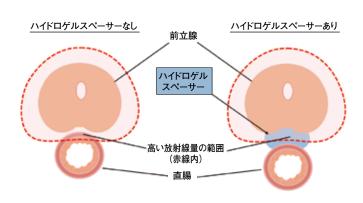
前立腺がん局所放射線治療による 直腸障害軽減のためのスペーサー留置術

泌尿器科診療部長 上 井 崇 智

早期前立腺がんに対しての局所放射線治療は、手術療法と並ぶ標準的治療です。近年その効果を高めるために照射線量が増加しており、前立腺背側の臓器である直腸への照射をいかに少なくし、副作用である放射線性直腸炎(下血、直腸潰瘍など:頻度2~5%前後)を回避するかが課題となっています。

この副作用を減らすことができるとされる方法がスペーサー留置術です。これは前立腺と直腸の間に針を刺して、ハイドロゲルと呼ばれるゼリー状の物質を注入する方法です。注入したハイドロゲルによって、前立腺と直腸の間に約1cm程度のスペースができ、直腸に高い線量の放射線が当たりにくくなります。

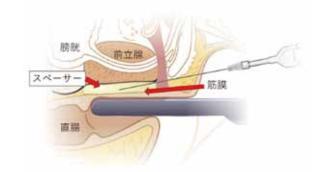
ハイドロゲルは注入後約3ヵ月間維持し、その後約6ヵ月かけて体内に吸収されますので放射線治療中は

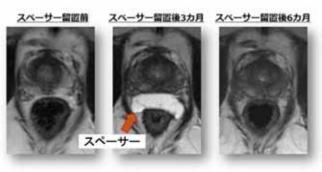


安定した効果を発揮します。またハイドロゲルは安全性の 高い材料ですので体への負担も心配ありません。

治療は 2 泊 3 日の入院で、腰椎麻酔下に行います。 砕石位になり肛門から挿入した超音波装置で確認しなが ら会陰部より専用の針を刺し、ハイドロゲルを留置します。 処置時間は麻酔も含めて約 30 分です。副作用は、便意 の切迫感、直腸出血(下血)、下痢、感染、アレルギー などが報告されていますが、大きな副作用はほとんど 起こりません。

当院では 2021 年 8 月よりこの手技を導入しました。 今まで以上に安全で安心な放射線治療の施行を目指して いきます。





薬剤部からお知らせ

2021年8月4日より 院外処方せんに 検査値を記載しました!

薬剤課長 河井 利恵子



医師が処方せんを発行し、薬剤師が調剤を行う「医薬分業」が確立し、当院でも院外処方せんの発行を開始してから十数年が経過しました。外来患者さんの調剤は、地域の保険薬局が中心となり病院の薬剤師は、入院患者さんの調剤や服薬指導など病棟での業務へとシフトしてきました。保険薬局は、患者さんからの情報のみでの調剤でしたが、地域の保険薬局との連携の一環として他の病院でも記載が進んできている検査値(血液検査)の一部や身体情報(身長、体重)を【院外処方せん】に記載させていただくことになりました。従来の院外処方せんは黄色の用紙を使用し、他の説明文書用紙などに紛れないようにしてきましたが、検査値の記載に合わせて A4 判白色用紙へ変更させていただきました。

患者さんの検査値や身体情報を保険薬局と情報共有することは、投与量や相互作用だけでなく、検査値に基づいて個々の患者さんの状態を把握した上で処方を監査し、肝機能、腎機能に応じた投与量の適正化や副作用の早期発見など薬物療法の安全性、有効性の向上に寄与できると考えています。患者さんが自覚症状としてわからない副作用でも検査値から判断できることもあります。副作用も出来るだけ早期に発見することで重症化を防ぐことが出来ます。

直近90日以内に測定された最新の検査値と身体情報を表示しますが、期間中に測定のない項目は空欄となります。検査結果を保険薬局に伝えたくない場合は、院外処方せんを切り離し、左側の【処方箋】のみを保険薬局に提出することも可能です。しかし、お薬による治療が安全に継続して行われるためには検査値の確認が重要となりますので、保険薬局に情報提供されることをお勧めします。

また、処方内容を格納した QR コードも合わせて表示しています。保険薬局でこの QR コードを特定の端末で読み取ることで、より正確で効率的に処方せんの受付が可能になります。こちらは、当院が印字を開始したところですので対応できる保険薬局が多くありませんが、普及されることが期待できます。

今後も地域での連携が重要と考え、病院内でも地域でも顔の見える薬剤師、顔のわかる薬剤師を目指しています。薬について不安などありましたら、顔のわかる薬剤師にご相談ください。



認定看護師の活躍

~新生児集中ケア認定看護師~

新生児集中ケア認定看護師 赤石 洋子・中井 美和子

産科病棟や新生児の集中治療室(NICU)新生児病棟(GCU)を題材にした情報番組やドラマなどご覧になられた方も多いと思います。そして「あれって、ドラマや都会の大きな病院だけの話でしょ」と思われていませんか?そんなドラマのようなNICU・GCUが桐生厚生総合病院の中に「新生児未熟児センター」としてあることをご存じでしょうか?群馬県立小児医療センターを中心に群馬大学医学部附属病院をはじめとした

地域周産期センターと連携し、東毛地区の産科・ 新生児医療の中心的な役割を果たしています。

赤ちゃんは言葉で訴えることができないため、24時間寄り添い、赤ちゃんが出すサインを受け止め、全身状態が安定するよう努めています。そして、健やかに成長発達できるよう一人ひとりに合わせた環境や日常ケアの提供をしています。また、お母さんの体調を考慮しながら、ご両親が我が子のケアに参加できるよう援助しています。

最近では生まれる赤ちゃんは減ってきていますが、早産や生まれつき病気を持った赤ちゃんは増えています。それに伴い、退院後も家庭で医療的ケアが必要な赤ちゃんも増えています。ご家族が安心して退院後の生活が迎えられるようさまざまな職種のスタッフと協力し看護をしています。

毎日がドラマのように大きなことばかりが起きて





いるわけではありませんが「出産して1週間たって、はじめて目を開けている顔をみた」「はじめておっぱいを飲んでくれた」「3ヶ月目にしてはじめて抱っこした」など嬉しいことや「今日はちょっと苦しそう」「おっぱいを全く飲んでくれなかった」など落ち込むことなど毎日新生児未熟児センターでは小さなドラマが起きています。

私たち新生児集中ケア認定看護師は、そのような赤ちゃんやご家族にとって最善の看護が提供できるよう、常にスタッフとともに考え実践しています。そして、赤ちゃん一人ひとりを尊重し、優しい看護を目指し活動しています。





(床ずれ)

床ずれの要因と予防

床ずれは寝たきりになり食事も十分摂れなくなった 低栄養の方にできます。寝たきりになると筋肉が 減って骨が飛び出してきます。

そして骨と皮膚にはさまれた部分が押されて血が通わなくなって床ずれになります。 床ずれの予防は、寝たきりにならないことと、栄養を付けること、また骨が出てきた ら軟らかい床ずれ予防マットレスを使うことが大切です。

新しい床ずれの多発

ところが 2020年3月からこのような原則を覆す新しい床ずれが多発するようになり ました。寝たきりではなく元気に歩ける方で栄養状態も悪くない方に、1施設で半年 間で7例も床ずれがありました。コロナウイルス感染拡大への自粛要請に対し、自宅 にとどまり外出を控え、家でじっと座って、あるいは横になってテレビを見ていた高 齢者でした。あるいは家で椅子に座ってずっとパソコンをしていた方たちでした。

これらの床ずれは座った時に下になる坐骨部、尾骨部、あるいは横向きに寝た時下に なる大転子部にあり、痛みを伴っていました。できてまだ日が浅いものは、皮膚をみ ただけでは何の変化もありませんが、皮膚を大きくつまむと、皮膚の下に硬くて痛い 床ずれがありました。時間の経ったものは重症化し、表面がただれて潰瘍化し血が出て いました。1 例では皮膚の下の硬い部分に感染がおこり、膿が出ていました。

床ずれの対策と治療

いずれの方も、座る姿勢が悪く、また座る時に圧迫 を減らせるクッションは使われていませんでした。 軽症の床ずれでは圧迫を減らす床ずれ用クッション を用いるだけで治っていきました。

しかし、重度の床ずれでは、床ずれ用クッションを 導入しても治るのに長期間かかり、適切な傷の処置 も必要でした。

つまり、感染がある時は感染対策の治療、感染が治 まれば傷んだ組織をできるだけ早く回復させる治療、 そして最後は表皮化させる治療です。

気になるときはすぐにご相談を

同じ姿勢で横になったり座ったりする時間が長く なっていたときや、下になっていたところに痛みが 出た場合、全身状態が悪ければもちろんですが、元 気でも床ずれかもしれません。

痛いところを触ってみて、そこが骨の出っ張ったと ころなら、あるいは皮膚の下に痛くて硬いものを触 れたら、すぐに医師か看護師に相談しましょう。



日本褥瘡学会・在宅ケア推進協会

〒169-0072 東京都新宿区大久保2丁目4番地12号 新宿ラムダックスビル9階 (株)春恒社学会事業部内 E-mail: care@zaitaku-jokusou.info

TEL: 03-5291-6231

FAX: 03-5291-2176

